



人が環境をつくり 環境が人を育てる

学校環境緑化コンクール現地審査



9月26日(火)に熊本市学校環境緑化コンクール現地審査がありました。

今回のコンクール参加に向けては、昨年度後期の緑化委員会の取組からスタートしています。

日ごろの四季折々に咲く草花へのお世話と共にR4後期の北部SDGs緑化コースでは、熊本県指定天然記念物「寂心さんの樟(くす)」の子孫を残すプロジェクトとして、校内に成長した苗木を運動場に移植した探究的な学びの実践を行っています。(R4.3に熊日掲載)

R5前期は、サクラソウの成長に土が影響しているのではないかと考え、土の改善に関する探究的な学びを行っています。

緑化委員長の岩本さん(3-3)、副委員長の中村さん(2-5)が審査員のみなさんにわかりやすいプレゼンを上手に行ってくれました。

また、緑化委員だけでなく、JRC部が校内に咲く花を瓶に生けてトイレ等に飾ってくれている取組や美術部が昇降口に緑化啓発のシンボルパネルの作成等、環境整備の充実に高い評価をいただきました。

みんなで作っている潤いのある緑化環境の中で、全校生徒のみなさんにが、しっかり落ち着いて学びを深め、充実した生活を過ごしていただけることを願っています。



北部 SDGs (総合的な学習の時間)

9月27日(水)の北部SDGs(総合的な学習の時間)では、コース内発表会を行いました。

5月にスタートした前期の北部SDGsは、各コース(生徒会委員会ごと)に分かれ、2・3年生の縦割りグループで「身の回りの生活や社会の中から課題を発見し、SDGsの視点で解決(改善)しよう。」のテーマで活動を行ってきました。

学習する班ごとに実験をしたり、学校外の施設等に訪問したり等、様々な探究的な学びを行ってきました。また、課題(改善)へのプレゼンをタブレット端末で行うと共にポスターを作成したりするなどの工夫した取組もありました。

本日(9月29日(金))に学校全体で発表会を行います。探究的な学びの成果が楽しみです。

阿蘇をPR (1年生総合的な学習の時間)



9月27日(水)の1年生総合的な学習の時間では、集団宿泊教室の経験をもとに阿蘇について探究的に調べた

ことを各クラス発表会が行われていました。

発表内容としては、「野焼き」「阿蘇の草花」「火山」等、様々な魅力あるものでした。発表後は振り返りシートにまとめ、今後活かす姿もありました。

1年生が自ら課題を発見し、主体的に解決に向けて活動できるようになることを期待しています。